

## 主日礼拝

2023年07月9日  
午前10時30分前奏 「主に入・礼拝 我らを顧みたまえ(1番)」  
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。  
喜び祝い、主に仕え  
喜び歌って御前に進み出よ。」 (詩編 100:1, 2)

## 頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ち ちと み子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊 に

## リタニー 「大切なひとりひとり」

司会者：生まれたところで仲間はずれにする  
わたしたちがいます。

会衆：でも、みんな大切なひとりひとり。

司会者：病気やしょうがいによって仲間はずれ  
にするわたしたちがいます。

会衆：でも、みんな大切なひとりひとり。

司会者：イエスさまは、仲間はずれにされた  
人々といっしょにご飯を食べました。

会衆：だから、みんな大切なひとりひとり。

司会者：イエスさまは、病気に苦しむ人々を  
ぎゅーっと抱きしめられました。

会衆：だから、みんな大切なひとりひとり。

司会者：わたしたちを造られた神様が言われます。

一同：みんな大切なひとりひとり。アーメン。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみ しゅよあわれみ  
キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみ しゅよあわれみ しゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

## 聖書 使徒言行録 20：7～12

新約(新共同訳)P253

7週の初めの日、わたしたちがパンを裂くために  
集まっていると、パウロは翌日出発する予定で  
人々に話をしたが、その話は夜中まで続いた。  
8わたしたちが集まっていた階上の部屋には、た  
くさんのともし火がついていた。9エウティコと  
いう青年が、窓に腰を掛けていたが、パウロの話  
が長々と続いたので、ひどく眠気を催し、眠りこ  
けて三階から下に落ちてしまった。起こしてみ  
ると、もう死んでいた。10パウロは降りて行き、彼  
の上にかがみ込み、抱きかかえて言った。「騒ぐ  
な。まだ生きている。」11そして、また上に行っ  
て、パンを裂いて食べ、夜明けまで長い間話し続  
けてから出発した。12人々は生き返った青年を連  
れて帰り、大いに慰められた。

# 賛美 532 「やすかれ、わがこころよ」

Stille, mein Wille  
詞：Katharina von Schlegel, 1697 ?  
曲：Jean Sibelius, 1869-1957  
FINLANDIA

1 やすかれ、わがこころよ、  
2 やすかれ、わがこころよ、  
3 やすかれ、わがこころよ、

主イエスはともにいます。  
いたみも苦しみを  
しすかに忍び耐えよ。  
主イエスのともにませば、  
耐ええぬ悩みはなし。

主イエスのとみにもにませば、  
みかはやくみかおあおぐ、

たえぬなやみはなし、  
いのちのさしをぞうけん。

- 1 やすかれ、わがこころよ、  
主イエスはともにいます。  
いたみも苦しみを  
しすかに忍び耐えよ。  
主イエスのともにませば、  
耐ええぬ悩みはなし。
- 2 やすかれ、わがこころよ、  
なみかぜ猛るときも、  
恐れも悲しみを  
みむねにすべて委ねん。  
み手もてみちびきたもう  
のぞみの岸はちかし。
- 3 やすかれ、わがこころよ、  
月日のうつろいなさ  
み国はやがてきたらん、  
うれいは永久に消えて、  
かがやくみ顔あおぐ  
いのちのさちをぞ受けん。

## 説教 「一人の大切な命」

## 聖餐式

## 賛美 81-1 「主の食卓を囲み」

詞：新垣壬敏, 1938-  
曲：新垣壬敏, 1938-  
MARANA THA

1 主のしょくたくをかこみ、いのちのパンをいただき、  
すくいさかずきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。  
(くりかえし)  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、  
救いのさかずきを飲み、主にあつてわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

# 賛美 446 「主が手をとって起こせば」

詞：今駒泰成, 1926-  
曲：新垣壬敏, 1938-  
KAMI NO MIWAZA

1 主が手をとって起こせば、よろめくあしさえ  
2 主が手をのべてさわれば、とじた目はひらき  
3 ただ主を見つめあゆめば、なみにもしすまず

おどりあゆむ-よろこび。これぞかみのみわざ。  
ひかりをみる-うれしき。これぞかみのみわざ。  
おそれしらぬしんこうは、これぞかみのみわざ。

- 1 主が手をとって起こせば  
よろめく足さえ  
おどりあゆむよろこび。  
これぞ神のみわざ。
- 2 主が手をのべてさわれば、  
とじた目はひらき  
ひかりを見るうれしき。  
これぞ神のみわざ。
- 3 ただ主を見つめあゆめば、  
波にもしすまず  
おそれ知らぬ信仰は、  
これぞ神のみわざ。

## 派遣

- 司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「来る朝ごとに、神の光を心にうけて(210番) (P.C.ラトキン)」

- 司式 袁 紅  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子  
助餐 泉、大代、喜多村

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。